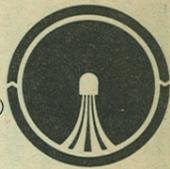


第18号

ほんきょうろ
本郷とは人類の本当の故郷(地上天国)
という意味です。従って、本郷路とは
地上天国実現のための道路です。
(題字は文鮮明師)



本郷路

昭和61年(1986年)6月1日発行

発行所 国際ハイウェイ建設事業団
東京都渋谷区道玄坂2-10-12
新大塚ビル3号館4F TEL 03(496)2893

THE INTERNATIONAL HIGHWAY
CONSTRUCTION CORPORATION

早期建設への期待高まる

国際ハイウェイ・日韓トンネル研究会



総会には多くの来賓が出席し、早期実現への盛り上がりを見せた(京王プラザホテル、コンコルドボールルーム)

調査から建設段階へ
第四回総会を盛大に開催

国際ハイウェイプロジェクト・日韓トンネル研究会(会長・佐々保雄北海道大学名誉教授)
は、五月二十九日、東京新宿区の京王プラザホテルで第四回総会を開催した。研究会設立三周
年を記念した総会には、会員・一般約五百名が参加し、研究内容の報告と来賓の力強いメッセー
ジに会場は終始熱気に包まれた。また総会に先立って、同ホテル内で一年間の研究内容の報告
会ももたれ、約五百名の学者・技術者が参加して、各研究会毎の研究内容の発表に熱心に耳を傾
けていた。(第二・三・四回関連記事)

三周年を記念した研究会総会
は、各部会の研究報告会終了後、
午後六時から京王プラザホテル
・コンコルドボールルームで開
かれた。総会には、研究会理事の
佐々保雄・日本大学教授の司
会が始まり、金山政英・元駐韓
大使が開会の辞を述べた。
金山氏は、「こんなに多くの
専門家の方々が日韓トンネル建
設のために集って下さり、役員
一同実現に強い自信を得たと
語り、次に挨拶に立った佐々会
長も、「報告会、総会にご来賓
の方々も参加し、日韓トンネ
ルに対する関心の深さや高さが
えられた。今後も皆様の温かい意
見を賜わり、研究会を更に発展
させていきたい」と、今後の活
動に対する強い意欲を述べた。

次に、国際ハイウェイ建設
事業団を代表して梶栗玄太郎理
事長が、事業団の九州現地の活
動状況と今後の抱負を語り、
「研究会の諸先生方の協力を得
て、この計画が民間レベルから
国家的プロジェクトに進展して
ゆくことを期待する。更に、中
国大陸へハイウェイを建設して
ゆく準備をしてゆきたい」と、
中国大陸へ延びるハイウェイ建
設の構想を紹介した。

理事長挨拶

日韓トンネル研究会第四
回総会での挨拶より抜粋、
要約。

佐々会長を始め各部会委員
の皆様のご参加に感謝し、
して、日韓トンネル計画がこ
のように進捗を遂げてい
ましたことに心から感謝申
上げます。また国際ハイウ
ェイ建設事業団も発足して四年
二カ月になりましたが、この
間、建設用地の確保や各種調
査活動に携わり、大きな成果
をあげることが出来ました。



国家的事業へ発展を

国際ハイウェイ建設事業団理事長

梶栗 玄太郎

報告申し上げましたところ、
是非詳細な報告を聞きたいと
思っています。ご来賓の方
ら、研究会各部会の先生方に

もつことになると強調した。そ
して「この歴史的なプロジェクト
を成功に導くのは、資金や技
術のみではなく、人類愛、祖国
愛に基づいた精神力である」と、
ハイウェイ構想の背後に流れる
文鮮明師の愛の思想を述べた。
また福田氏は、世界各国の政
財界有識者の談話を紹介しなが
ら、「言葉だけで平和を唱え、
国際社会の安定に何ら提案しな
い人達がたくさんいるが、この
ハイウェイ構想は日韓トンネル
建設を通して世界平和への具
体的第一歩を踏み出している。
平和を目指したハイウェイ建
設運動を高々評価した。

統一して語りがなされてゆく
に違いない。

先日、ある政府関係の方に
このプロジェクトについて御
力のためであると思っ
ておられます。
各関係官庁に対してそれぞれ
研究内容を報告していただ
いた、と願うものでございま
す。そういった経緯を通過し
て、民間プロジェクトから
国家的プロジェクトへと飛躍
してゆくのではないかと願っ
ております。

また国際的には、中国に対
して代表団を送り込み、中国
大陸でのハイウェイ建設の足
がかりにしたいと考えてお
りまます。中国の許可
を得ましたら、直ちに安東か
ら北京までの千五百キロも及
ぶハイウェイ建設の調査、建
設に取りかかれるように体制
を整えてゆきたいと考えてお
ります。

国内また国外においても、
本プロジェクトは今後より一
層、注目と期待を集めてゆく
と思っております。今後共
様方の御指導と御協力をお願
い申し上げます。

自由公路

先月、例年なら行
乗客でいっぱいだった
東京で国際的なイベントが統
一した。先進国首脳会議と英皇
太子ご夫妻の来日だ。極東に
位置する日本は、明治以来百
二十年で世界一の富裕国家と
なり、今やその政治行動が世
界から注目され始めた。相
次ぎVIPの来日に首都圏で
は前代未聞の警備体制がしか
れたが、その盛況を羨望の
ロケット弾が、各国首脳の
集まる迎賓館に向けて発射さ
れた。幸い被害はなかったが、
サミット共同宣言では国際テ
ロに対する強硬な声明文が発
表された。無差別テロは世界
平和との関係がない。平和
は暴力ではなく調和と建設の
中で生まれてくるものだ。背
後で国際テロを擁護する国も
あるが、自由公路を築いて平和の
敵に断固とした態度をとっ
てほしい。先日、福田信之・前
筑波大学学長は研究会総会で
挨拶し、「平和を叫ぶ人は多
いが、自己犠牲を伴う国際協
力に積極的な人は少ない」と
訴えた。平和を目指した具
体的行動が願われる時である。
平和建設の第一歩として計画
中の日韓トンネルも、試験斜
坑の坑口設備工事が完成間近。
今夏には掘削開始となる。青
洞門の掘削が三年後の今日
もなお人々に感銘を与えるよ
うに、このトンネル掘削も人
類の繁栄を築いた歴史的な第
一歩として語り継がれてゆく
に違いない。

未来をつなぐ国際ハイウェイ・プロジェクト

国際文化財団創設者 文鮮明師

私は、一つの提案をしたいと思
います。それは中国から韓国を通り日本に至る「アジア大ハイ
ウェイ」を建設し、ゆくゆくは、全世界に通
じる「自由圏大ハイウェイ」を建設すること
です。これは中国大陸から韓半島を縦断し、トン
ネルあるいは鉄橋で日本列島に連結して日本を
縦断する一大国際ハイウェイで、ここでは自由
が保障されるのです。



もしこれが建設されるなら、アジア諸国はハイウェイで連結さ
れ、一体化されることが出来ます。そうすれば、経済や文化の交
流が頻繁となり、アジア共同体が形成されるのです。

〈第10回科学の統一に関する国際会議での開会挨拶より〉

(ご案内)

- ビデオ ●「本郷路」国際ハイウェイ(10~15分、日、英語)
パンフレット ●「国際ハイウェイ・プロジェクト」(B5判、日、英語)
●「国際ハイウェイ基本構想」(A4判変型)
新聞 ●「本郷路」月刊(タブロイド判4頁)

●お申し込みお問い合わせ ☎03-496-2893



国際ハイウェイ建設事業団

〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12 新大塚ビル3号館4階 ☎03(496)2893

会員募集

- 正会員
年額 1口 5,000円
●賛助会員
年額 個人 1口 10,000円以上
年額 法人 1口 50,000円以上
●お申し込み先

☎03-496-9211

国際ハイウェイ・プロジェクト
日韓トンネル研究会

平和への道建設へ

小雨の降る中、京王プラザホテルで開かれた報告会・総会には、多くの学者・技術者が訪れ、巨大プロジェクトの進展状況に聞き入り、報告会の一時も静かな会場に詰めかけた会員もおり、トンネル計画への関心の深さがうかがえた。青函トンネルが貫通し、英仏海峡トンネル工事が決定された後、日韓トンネル建設に期待する声も強く、参加者は報告会を交わす多岐にわたる研究内容に熱心に耳を傾けていた。更に今夏から掘削開始となる調査斜坑建設の発表も行われ、日韓トンネル計画がいよいよ建設の段階にはいって来たことを感じさせた。また総会終了後の懇親会でも、来賓の力溢れる祝辞が相次ぎ、和やかな中にも夢実現に向けて活気あふれる議論が展開されて盛会のうちに終った。

日韓トンネル研究会 第4回総会

「日韓トンネル計画が、調査斜坑建設の段階にはいって来たことを皆様と共に喜びたい」、報告会冒頭に挨拶した佐々木会長は、報告に参加した技術者たちは、驚きの声をあげた。青函トンネルさえも、調査開始から十九年後に調査斜坑建設が始まっているのに、日韓トンネル計画は掘削以来四年半しか経過してないのだ。

未来照らす光の道 建設の機運会場に広がる



参加者はトンネルの早期実現を確信した(懇親会会場)



懇親会には、歌手の水野浩二さんも駆けつけ、会場は大きく盛り上がった



親睦を深め合う研究会役員(懇親会会場)

事長も、「中国大陸に建設するハイウェイの準備を整えてゆきたい」と挨拶し、文鮮明師の「ハイウェイ構想が、一歩一歩実現へ確かになつて進んでいる」とを印象づけた。

また来賓の挨拶に立った久保木 福田氏も、現在の国際情勢(二十一世紀)に向けて日本の進めべき道を提示しながら、「ハイウェイ運動は世界を照らす新しい光である」とハイウェイの早期建設を訴え、会場全体に大きな感動の高が広がった。

その後議事に移り、各部長から一年間の活動報告と今年度の計画が発表された。理念・政策等を担当する第一部長は、鳥羽 羽次郎氏が「二部会は、ハイウェイ建設の基本となる理念問題や経済政策等、非常に複雑な分野を扱っているが、本年度中これをまとめ上げて各部署の調整を促すべく」と抱負を語った。地形・地質等を担当する第二部長は、福田 泰三氏が「今年度は、渡海測量の実測やこれまで実施してきた音波探査のデータを整理して、概観段階の基本的問題点を整理し、データの有効利用を可能にしてゆきたい」と語った。

設計・施工等を担当する第三部長は、持田 豊氏が「具体的なトンネルルートを選定するにあたり、英仏海峡の例も参考に、道路トンネルの可能性についても検討を加えてゆきたい。そのために他部会との交流をもっと深めたい」と述べた。

また、来賓の挨拶に立った久保木 福田氏も、現在の国際情勢(二十一世紀)に向けて日本の進めべき道を提示しながら、「ハイウェイ運動は世界を照らす新しい光である」とハイウェイの早期建設を訴え、会場全体に大きな感動の高が広がった。

その後議事に移り、各部長から一年間の活動報告と今年度の計画が発表された。理念・政策等を担当する第一部長は、鳥羽 羽次郎氏が「二部会は、ハイウェイ建設の基本となる理念問題や経済政策等、非常に複雑な分野を扱っているが、本年度中これをまとめ上げて各部署の調整を促すべく」と抱負を語った。地形・地質等を担当する第二部長は、福田 泰三氏が「今年度は、渡海測量の実測やこれまで実施してきた音波探査のデータを整理して、概観段階の基本的問題点を整理し、データの有効利用を可能にしてゆきたい」と語った。

担当する第二部長は、福田泰三氏が「今年度は、渡海測量の実測やこれまで実施してきた音波探査のデータを整理して、概観段階の基本的問題点を整理し、データの有効利用を可能にしてゆきたい」と語った。

設計・施工等を担当する第三部長は、持田豊氏が「具体的なトンネルルートを選定するにあたり、英仏海峡の例も参考に、道路トンネルの可能性についても検討を加えてゆきたい。そのために他部会との交流をもっと深めたい」と述べた。

また、来賓の挨拶に立った久保木 福田氏も、現在の国際情勢(二十一世紀)に向けて日本の進めべき道を提示しながら、「ハイウェイ運動は世界を照らす新しい光である」とハイウェイの早期建設を訴え、会場全体に大きな感動の高が広がった。

その後議事に移り、各部長から一年間の活動報告と今年度の計画が発表された。理念・政策等を担当する第一部長は、鳥羽 羽次郎氏が「二部会は、ハイウェイ建設の基本となる理念問題や経済政策等、非常に複雑な分野を扱っているが、本年度中これをまとめ上げて各部署の調整を促すべく」と抱負を語った。地形・地質等を担当する第二部長は、福田 泰三氏が「今年度は、渡海測量の実測やこれまで実施してきた音波探査のデータを整理して、概観段階の基本的問題点を整理し、データの有効利用を可能にしてゆきたい」と語った。

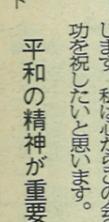
人々の関心高まる 日韓トンネル研究会会長 佐々保雄



本日はあいにくの雨にもかかわらず、第四回総会に御参加いただき感謝の念にたえません。

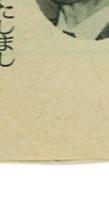
今年の一月、英仏海峡のトンネル工事が本決りとなり、歴史的な西向のいきさつを乗り越えて今秋の決断となった。日韓トンネルも、この意味で同じような経緯を迎えるのではと、次第です。ただ、日韓の場合には、地質的にも難しき御意見御希望を十分参考にしながらこの研究会の活動を進めてゆきたいと存じます。これから議事に従って総会を進めてゆきます。

海外鉄道技術協力協会理事長 瀧山 養



私は現在の日本が心配です。政治の問題や行革の先行き、極めて重要な意義をもつてまいして海外協力の危機感も懸念を問うています。しかし、本日の総会に参加して、部長の先生方の立派な講演と、部会の方々の力強いメッセージをうかがい、非常に前途が明るいと思われ、非常に励みになります。恐らく御出席の皆様も深い感銘を受けられたのではないかと存じます。私はこの研究会の成功を祈りたいと思います。

国際文化財団理事長 久保木 修己



本日の総会に参加いただき、非常に感激しております。九州の方でも七月、支那総会を開く予定になっておりますが、そこは東京のトンネル建設にかける意気込みを更に高揚させるようにしていきたいと思っております。

日本の平和戦略に 元駐韓大使 金山政英

日韓トンネル研究会が定めて頂度三年が経過し、総会も第四回になりました。これは多くの専門家が集まるトンネル研究会が着々と進められて、現実を御覧になり、御来場の皆様も非常に心強い思いを抱かれておられるのではないかと存じます。私は二十一世紀を目標とした日本の平和戦略として、このプロジェクトは是非とも実現しなければならぬと存じます。しかし建設に向けて着々と具体的な研究が進められている事実があります。

前筑波大学学長 福田信之

第四回総会の御成功を心からお祝い申し上げます。中国もこのハイウェイ構想に大変興味をもっている聞いております。また私も、ハイウェイプロジェクトに刺激されまして、学者達の協力を得て東アジアの研究に力を入れようとしております。そこで政財界の内外有識者から多方面にわたる話をうかがって、場から日本を含むアジアの問題が話し合われています。

衆議院議員 大塚雄司

第四回総会が盛大に行われ、したことに心からお慶び申し上げます。このプロジェクトに関しては、以前から賛成に賛同をされて頂いておりました。私がかつて国土庁の政務次官を務めていた時、国土利用計画の立案を担っていた日本が、幸福でない国への援助を今後考えてゆかないと国際社会の中で孤立してゆくことは明らかです。このプロジェクトは、まさに未来の国際ハイウェイであり、また、世界を照らす新しい光であると感じた次第です。言葉のみならず、世界平和に至る現実的な第一歩としてこのプロジェクトが具体的に建設の段階へはいることを願いながら祝辞の言葉にかえたいと思っております。

戦後四十年間に日本は目ざましい発展を遂げ、国際社会における日本の位置は非常に高くなっております。今後、国際化が更に進んで世界はもっと近くなるわけにはありません。そういう中で、世界を縦横に結ぶハイウェイ計画は、将来に対する大きな期待であり、研究会、事業団のスタッフの皆様から敬意を表する次第です。私もハイウェイ構想に出来る限りのお役に立ちたいと考えておりますので、皆様方いろいろ御指導御便達を賜わりたいと思っております。このプロジェクトの発展を心から祈りつつ挨拶の言葉として頂きます。

主催者・来賓あいさつ

世界を照らす光 前筑波大学学長 福田信之

日本はあいにこの雨にもかかわらず、第四回総会に御参加いただき感謝の念にたえません。

海外鉄道技術協力協会理事長 瀧山 養

私は現在の日本が心配です。政治の問題や行革の先行き、極めて重要な意義をもつてまいして海外協力の危機感も懸念を問うています。しかし、本日の総会に参加して、部長の先生方の立派な講演と、部会の方々の力強いメッセージをうかがい、非常に前途が明るいと思われ、非常に励みになります。恐らく御出席の皆様も深い感銘を受けられたのではないかと存じます。私はこの研究会の成功を祈りたいと思います。

国際文化財団理事長 久保木 修己

本日の総会に参加いただき、非常に感激しております。九州の方でも七月、支那総会を開く予定になっておりますが、そこは東京のトンネル建設にかける意気込みを更に高揚させるようにしていきたいと思っております。

日本の平和戦略に 元駐韓大使 金山政英

日韓トンネル研究会が定めて頂度三年が経過し、総会も第四回になりました。これは多くの専門家が集まるトンネル研究会が着々と進められて、現実を御覧になり、御来場の皆様も非常に心強い思いを抱かれておられるのではないかと存じます。私は二十一世紀を目標とした日本の平和戦略として、このプロジェクトは是非とも実現しなければならぬと存じます。しかし建設に向けて着々と具体的な研究が進められている事実があります。

前筑波大学学長 福田信之

第四回総会の御成功を心からお祝い申し上げます。中国もこのハイウェイ構想に大変興味をもっている聞いております。また私も、ハイウェイプロジェクトに刺激されまして、学者達の協力を得て東アジアの研究に力を入れようとしております。そこで政財界の内外有識者から多方面にわたる話をうかがって、場から日本を含むアジアの問題が話し合われています。

衆議院議員 大塚雄司

第四回総会が盛大に行われ、したことに心からお慶び申し上げます。このプロジェクトに関しては、以前から賛成に賛同をされて頂いておりました。私がかつて国土庁の政務次官を務めていた時、国土利用計画の立案を担っていた日本が、幸福でない国への援助を今後考えてゆかないと国際社会の中で孤立してゆくことは明らかです。このプロジェクトは、まさに未来の国際ハイウェイであり、また、世界を照らす新しい光であると感じた次第です。言葉のみならず、世界平和に至る現実的な第一歩としてこのプロジェクトが具体的に建設の段階へはいることを願いながら祝辞の言葉にかえたいと思っております。

戦後四十年間に日本は目ざましい発展を遂げ、国際社会における日本の位置は非常に高くなっております。今後、国際化が更に進んで世界はもっと近くなるわけにはありません。そういう中で、世界を縦横に結ぶハイウェイ計画は、将来に対する大きな期待であり、研究会、事業団のスタッフの皆様から敬意を表する次第です。私もハイウェイ構想に出来る限りのお役に立ちたいと考えておりますので、皆様方いろいろ御指導御便達を賜わりたいと思っております。このプロジェクトの発展を心から祈りつつ挨拶の言葉として頂きます。

未来への期待 衆議院議員 大塚雄司

第四回総会が盛大に行われ、したことに心からお慶び申し上げます。このプロジェクトに関しては、以前から賛成に賛同をされて頂いておりました。私がかつて国土庁の政務次官を務めていた時、国土利用計画の立案を担っていた日本が、幸福でない国への援助を今後考えてゆかないと国際社会の中で孤立してゆくことは明らかです。このプロジェクトは、まさに未来の国際ハイウェイであり、また、世界を照らす新しい光であると感じた次第です。言葉のみならず、世界平和に至る現実的な第一歩としてこのプロジェクトが具体的に建設の段階へはいることを願いながら祝辞の言葉にかえたいと思っております。

衆議院議員 大塚雄司

第四回総会が盛大に行われ、したことに心からお慶び申し上げます。このプロジェクトに関しては、以前から賛成に賛同をされて頂いておりました。私がかつて国土庁の政務次官を務めていた時、国土利用計画の立案を担っていた日本が、幸福でない国への援助を今後考えてゆかないと国際社会の中で孤立してゆくことは明らかです。このプロジェクトは、まさに未来の国際ハイウェイであり、また、世界を照らす新しい光であると感じた次第です。言葉のみならず、世界平和に至る現実的な第一歩としてこのプロジェクトが具体的に建設の段階へはいることを願いながら祝辞の言葉にかえたいと思っております。

衆議院議員 大塚雄司

第四回総会が盛大に行われ、したことに心からお慶び申し上げます。このプロジェクトに関しては、以前から賛成に賛同をされて頂いておりました。私がかつて国土庁の政務次官を務めていた時、国土利用計画の立案を担っていた日本が、幸福でない国への援助を今後考えてゆかないと国際社会の中で孤立してゆくことは明らかです。このプロジェクトは、まさに未来の国際ハイウェイであり、また、世界を照らす新しい光であると感じた次第です。言葉のみならず、世界平和に至る現実的な第一歩としてこのプロジェクトが具体的に建設の段階へはいることを願いながら祝辞の言葉にかえたいと思っております。

戦後四十年間に日本は目ざましい発展を遂げ、国際社会における日本の位置は非常に高くなっております。今後、国際化が更に進んで世界はもっと近くなるわけにはありません。そういう中で、世界を縦横に結ぶハイウェイ計画は、将来に対する大きな期待であり、研究会、事業団のスタッフの皆様から敬意を表する次第です。私もハイウェイ構想に出来る限りのお役に立ちたいと考えておりますので、皆様方いろいろ御指導御便達を賜わりたいと思っております。このプロジェクトの発展を心から祈りつつ挨拶の言葉として頂きます。

親睦を深め合う研究会役員(懇親会会場)

懇親会には、歌手の水野浩二さんも駆けつけ、会場は大きく盛り上がった

参加者はトンネルの早期実現を確信した(懇親会会場)

懇親会には、歌手の水野浩二さんも駆けつけ、会場は大きく盛り上がった

参加者はトンネルの早期実現を確信した(懇親会会場)

懇親会には、歌手の水野浩二さんも駆けつけ、会場は大きく盛り上がった

参加者はトンネルの早期実現を確信した(懇親会会場)

